

本庄南ロータリークラブ



会報

例会日 毎火曜日 19:00~ 20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004 本庄市駅南 2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明

第 693 回例会 8 月 5 日 (火) 発行 平成 20 年 8 月 9 日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19 時 00 分 矢部一臣会長
 ソング / 奉仕の理想
 ゲスト / 米山奨学生
 早稲田大学大学院
 国際情報通信研究科
 博士課程 金 相賢 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



チェスリー R.ペリー
 (Chesley R.Perry 1872~ 1960)
 皆様、今晚は。

今日は、甲子園初出場の我らの地元の本庄第一高校が、見事、第一回戦を島根県代表の海星高校に対して、見事に 9 回サヨナラホームランにより、5-4 の逆転勝利をあげました。今後の活躍が期待されます。

さて、今回のロータリーに関する挨拶は、ロータリーの組織をアメリカから国際組織に発展させるのに大きな貢献をしたチェスリー R.ペリー (チェス) と世界に広がったロータリーに関する話です。チェスリー R.ペリーは、国際ロータリーの初代事務総長で、ロータリー・クラブ国際連合会 (国際ロータリーの前身) の時代から、事務総長を 32 年間 (1910~ 42 年) にわたり務めました。シカゴ生まれの都会っ子で、1908 年シカゴ RC 入会。1911 年 1 月に創刊の『THE NATIONAL ROTARIAN』 (『THE ROTARIAN』) の生みの親。彼は、職業は社会に対する機会である、として職業奉仕の重要性を強調。また、初期のロータリーにおいてはその連合体の形成に大いに貢献し、ポール・ハリスをして「ロータリーの施工者」と称されました。

大きな役割を果たしたチェスリー・ペリー

4 人の会合から始まったロータリークラブ (RC) は、徐々に会員の数を増やしていきました。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、世界中にロー

タリーが広がっていくことを望んでいましたが、シカゴ RC の会員の多くは、その考えに賛同しませんでした。そこで、ポールは、自分自身で実践することによって、夢を実現しようと考えたのです。

チェスリー・R・ペリーは、シカゴ・クラブの活動に大いに熱意を傾けていたとはいえ、ロータリーの運動を拡大してゆくことに関心をもつようになるまでには、しばらく時間がかかりました。チェスがロータリー運動の拡大を図るようになってからは、ポールとチェスは、他の人たちからも助けをもらいながら、現存のクラブの連合会をつくる計画にかかりました。

チェスは、ロータリー・クラブ全体の第 1 回大会を計画し、組織するのに大忙しになりました。

シカゴから全米へ、そして世界へ

ロータリーはシカゴに近い街から少しずつアメリカ全土へと広がっていったわけではありません。2 番目のクラブは広大なアメリカ大陸を一挙に横断して、西海岸のサンフランシスコにできたのです。

1908 年 6 月、青年セールスマンのマニュエル・ムノズがシカゴからサンフランシスコに到着し、キャデラック・ホテルにチェックインした。次の日の夕方、ロビーでテーブルの前の椅子に腰掛けて、ムノズは翌日の予定を立てていた。2 年前の大地震以来、再建がまだ続いているこの街に不慣れなため、テーブルを挟んだ向かい側の男性に、道案内を請うた。こうして、マニュエル・ムノズはその時同じホテルに住んでいたホームー・ウッド弁護士に出会った。話し始めると、会話はどの通りがどこにあるという話題から大きく外れた。互いの職業、

アイデアに思われた。彼は社交家であり、取引と友人が増えるというメリットが魅力であるし、このロータリー・クラブは街のどのようなクラブとも違って、会合を終える際、ムノズはシカゴのポール・ハリスに手紙を書くように勧めた。

ホームーの手紙がサンフランシスコから届くと、ポール・ハリスは天にも上る想いだった。サンフランシスコは、彼が若き放浪時代に、駆け出し記者として働いた街だった。次の街といえば、ニューヨークか、ボストンか、デトロイトか、はたまたジャクソンビルかと頭に描いていたが、サンフランシスコでも無論問題はない。彼は直ちに返事を書き、シカゴ・クラブの定款・細則を同封して送った。この書簡がシカゴから届くと、ホームーはこれを持って親友のチェスター H.ウールシー博士を訪れ、このようなクラブのサンフランシスコにおける可能性をどう思うか意見を求めた。

こうして、サンフランシスコRCは、1908年11月12日に創立の日を迎えたのでした。その後、アメリカ国内に徐々に広がっていったロータリーは、ついに国境を超え、カナダ・マニトバ州ウィニペグRCが結成されるに至りました。この時の経過については、

1910年1月、全米ロータリー・クラブ連合会が結成され、その第1回目の年次大会が開催された3ヵ月後、シカゴのロータリアン、アーサー・フレデリック・シェルドンがチェス・ペリーに驚くべき発見を伝えた。シェルドンはちょうどカナダのマニトバ州ウィニペグから帰ってきたところで、そこでシカゴ滞在中にロータリーについて知っていたというマッキンタイヤー氏と会った。彼はシェルドンに自分もロータリアンであること、ウィニペグにできた30余名の新クラブの会員であることを伝えた。地元の実業家がロータリー・クラブを結成したが、米国の人間には誰も連絡していないという。

チェスリー・ペリーはただちにマッキン・タイヤーに手紙を書き、彼のクラブが全米連合会に加盟することの価値を説いた。クラブで検討に検討を重ねた後に、ウィニペグ・クラブは1912年2月に連合会加盟を申請し、3月1日に認証された。ウィニペグのロータリアンC.E.フレッチャーがミネソタ州デュルースで開催された1912年大会に出席した。彼が「全米ロータリー・クラブ連合会から国際ロータリー・クラブ連合会に名称を変更する動議を提出します」と発言すると、一瞬の沈黙の後、会場がどよめき、満場一致でこの動議が採択された。

と、『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』に書かれています。こうして国際組織となったロータリーは、その後、大西洋を渡り、イングランド、アイルランド、北アイルランド、スコットランドへと広がっていきました。アジアで最初にロータリークラブができたのが、フィリピン・マニラで、1918-19年度のこと。日本に渡って東京RCが承認されたのが、1920-22年度のことです。この年度には、オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、フ、

ランス、スペインも新規加盟しています。現在では168か国にまで広がりました。

(引用文献 『ロータリーへの私の道』『奉仕の一世紀 国際ロータリー物語』『ロータリーの友』2004年10月号から)・・・ロータリージャパン参照)

幹事報告

星野栄一 幹事



本庄市観光協会より視察研修の案内行き先 東京深川富岡八幡宮大祭他地区協議会の報告書が来ております。GSEの報告書が来ております。

委員会報告

山田 勝治 会員組織委員会 委員長



経済環境の影響もあろうが、ロータリー会員が減少しているのは残念であるが、退会者の話の中に、入会したが仕事に結び付かない、話が堅いので、自己研鑽の場であり、奉仕を行う事も忘れられてしまっている。そこで楽しい例会にして、入会したいクラブ運営例えば一芸に秀でた人の卓話、各種団体の長の卓話(警察・消防・スポーツクラブ・囲碁将棋)とかを開催すれば、入りたい魅力クラブで成長する。

長沼 章 会員増強委員会 委員長



普段なにげなく使っている横文字のなかに、聞いて、なんとなくこういうこと(もの)だと分かる単語がありますが、完全に理解しているのでしょうか?そんな単語をひとつずつでも解っていき、文化的ロータリアンとして意味を理解したうえで声にしたいと思います。

その1、高校野球がたけなわですが、大差がついて決着がつくゲームをコールドゲームといいますが、寒い試合?冷たい試合?カタカナを直訳するとそうなりますが、どうしてという疑問は生じませんか?要は残りイニングを考えると、大差で逆転の見込みがないから試合終了な訳です。これはcalledでcoldではないという同じコールドでもスペルの違いで意味が全く違ったのです。すなわち主審がもうこれ以上やっても結果は同じと判断し(実際はルールで決まっている)試合終了の宣言をする。CALLするわけです。

こういう風に意味不明の横文字を、声にする時解っているのといないのでは、だいぶ違いがありますよね。

その2、ホテルの最高級スイートルーム、結婚式の後に泊まる部屋だからでしょうか?

ゲスト挨拶



米山奨学生
早稲田大学大学院
国際情報通信研究科
博士課程 金 相賢 様

最近ネットワークでは、セカンドライフが流行っています。

「セカンドライフ」とはネット上の仮想空間に利用者が「アバター」と呼ばれるキャラクターを通して3D仮想現実に入り込み、会話とかショッピングを行うサービスです。

こんなキャラクターになってみたい、あんな場所を作ってみたい、世界中から人が集まるイベントを開催してみたいなど、現実にはできないことから、空を飛んだりなど夢でしかできないことまで、ありとあらゆることができるサービスです。

また、セカンドライフで使われるお金のリンデンドルは現実世界のリアルマネー（米ドル）に両替することが可能です。

現実の世界をファーストライフと言うと、ネットワークをベースにした仮想空間がセカンドライフになり、8月2日時点で853万人の住人（登録ユーザー）を抱えている。

巨大なネットワーク世界であるが、リピーターなど接続者数が伸びない悩みを持っている。

その一つの原因として、現実の世界に存在する「うまくいかない面白さ」が、仮想空間にはないことが取り上げられる。

ネットの世界で失敗した場合、リセットかエスケープボタンを押すと、目のピンチから脱出できるが、現実の世界では逃げるとしても、いつかそのツケが回ってくる。

やはり自分で責任を取らなければならない。

それが大変なことでもありながら、仮想空間ではない面白さでもあるかも知れない。



出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	10名	5名	7名	68.18%

例会予定

プログラム通り